10th anniversary

Japan Photonics Council JPC since 2009

特定非営利活動法人

# 日本フォトニクス協議会

## Japan Photonics Council (JPC)

http://j-photonics.org/

# 設立より 10 年の歩み

特定非営利活動法人
# 日本フォトニクス協議会　設立より 10 年の歩み

## ＜設立までの経緯＞

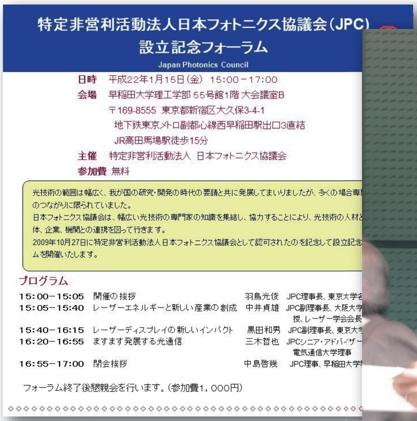
2008 年の 2 月 26 日に任意団体「ICOT フォーラム」のメンバーに対し、2009 年 4 月以降は新たな NPO を設立し活動をすることを図り、全員の了解を得て、設立に向けての活動を開始しました。

ICOT フォーラムとは 2000 年 6 月に光通信を主に研究する目的で設立された任意団体で、当初は WDM フォーラムと称し、電気通信大学の三木先生、職業能力開発大学校の西澤先生、早稲田大学の中島先生、琉球大学の波平先生を中心に活動していましたが、通信バブルの崩壊後は、より広い範囲の光技術全般を対象とした活動を推進してきました。しかしながら任意団体としての活動には公平性、公共性等の見地からおのずと限界があり、羽鳥先生に理事長をお願いし、2009 年 10 月 27 日に特定非営利活動法人日本フォトニクス協議会が設立されました。

## ＜本協議会の設立趣旨＞

日本が有する光技術に関する個別のアイデア、ノウハウ、教育システム、生産技術、デバイス技術およびそれらに関与する人材や企業のポテンシャルは世界的に見ても非常に高く、日本フォトニクス協議会ではこれらの人材や企業を結集し、グローバルかつ自由な視点で我が国のビジネス戦略を考え、光ビジネスの創成・展開をはかる事が最重要であり、そのためには光技術の専門分野に横串を貫き、聖域を取り除き、光全体を俯瞰できるオープンな場が必要であり、本協議会がそのような場としての役割を果たすべく諸活動を進めてきました。

また地球環境の保護と資源エネルギーの問題解決のための提言を行い、地球に優しいグリーン・フォトニクスの普及にも注力しています。


特定非営利活動法人日本フォトニクス協議会（JPC）
設立記念フォーラム
Japan Photonics Council
日時　平成22年1月15日（金）15:00－17:00
会場　早稲田大学理工学部 55号館1階 大会議室B
〒169-8555　東京都新宿区大久保3-4-1
地下鉄東京メトロ副都心線西早稲田駅出口3直結
JR高田馬場駅徒歩15分
主催　特定非営利活動法人　日本フォトニクス協議会
参加費　無料

光技術の範囲は幅広く、我が国の研究・開発の時代の要請と共に発展してまいりましたが、多くの場合専
のつながりに限られていました。
日本フォトニクス協議会は、幅広い光技術の専門家の知識を集結し、協力することにより、光技術の人材と
体、企業、機関との連携を図って行きます。
2009年10月27日に特定非営利活動法人日本フォトニクス協議会として認可されたのを記念して設立記念
ムを開催いたします。

プログラム
15:00－15:05　開催の挨拶　羽鳥光俊　JPC理事長、東京大学名
15:05－15:40　レーザーエネルギーと新しい産業の創成　中井貞雄　JPC副理事長、大阪大学
授、レーザー学会会長
15:40－16:15　レーザーディスプレイの新しいインパクト　黒田和男　JPC副理事長、東京大学
16:20－16:55　ますます発展する光通信　三木哲也　JPCシニア・アドバイザー
電気通信大学理事
16:55－17:00　閉会挨拶　中島啓幾　JPC理事、早稲田大学

フォーラム終了後懇親会を行います。（参加費1,000円）

平成 22 年 1 月設立記念フォーラムで説明される羽鳥理事長

## ＜活動経過＞

2012 年 4 月に分科会：産業用 LED 応用研究会（委員長：天野浩、名古屋大学教授）を設立。

2014 年に天野浩委員長がノーベル賞を受賞、翌年 2 月 16 日（月）午前に沖縄県浦添市で LED 特別研究会を開催したが、写真は午後に開催されたノーベル物理学賞特別講演会で、沖縄の中高生など約 1000 名が参加した。

その他下記のような支部や委員会が次々と設置され活動を行っています。

2014 年 4 月に支部：**JPC 関西**（支部長：中井貞雄、大阪大学名誉教授）

2014 年 11 月に専門委員会：**JPC 紫外線研究会**（委員長：平山秀樹、理化学研究所主任研究員）

2016 年 8 月に分科会：**知財戦略専門部会**（委員長：藤野仁三、前東京理科大学教授）

2017 年 5 月から産学連携を深化させるため **JPC アカデミック・パートナーシップ・ゼミナール**（APS）を開催してきましたが、APS の担い手として若手の産学の研究者･技術者を中心とした**先進フォトニクス技術研究会**（委員長：西山伸彦、東京工業大学准教授）が 2018 年 6 月に設立されました。

また、新しい通信手段として注目が高まる**可視光通信分科会**（委員長：春山真一郎、慶應義塾大学教授）が同じく 2018 年 6 月に発足しました。

なお、現在 OPIC 国際会議を統括主催している（一社）OPI 協議会は JPC を母体にして 2011 年に設立、2013 年 8 月に社団法人化されました。

このように、JPC では多くの光技術関係者の協力のもと様々な委員会を立ち上げてきましたが、下記に主な活動履歴を紹介いたします。

## ＜主な活動履歴＞

**2010 年度**

2010 年 1 月：設立記念フォーラムと設立記者発表会を開催

JPC フォーラム定例会 6 回開催（1 見学会）なお 3 月定例会は震災のため中止。
2011 年 1 月：Photonics West 2011 に調査員を派遣し現地情報交換会を実施（San Francisco 1 月 22日 −27 日）

**2011 年度**

7 回のフォーラムを開催。分科会では国際交流分科会に加えて新たに産業用 LED 応用研究会の活動を推進。

**2012 年度**

6 回のフォーラムを開催。新規取組として、商品説明会や光協会との共催などを実施。カナダ国ケベック州 QPN, イタリア・トスカーナ経済振興機関、ドイツレーザ協会などと交流した。QPN とは 2012 年 6 月に MOU を締結し、協力関係を強化した。
LED 応用研究会では玉川大学農学部の LED 照明植物工場の見学会を開催。

**2013 年度**

JPC フォーラム定例会を主体にしつつ（6 回開催）、分科会では、産業用 LED 応用研究会を主に普及･啓蒙活動を推進した。また UUO サロン（サロンホスト：谷田貝副理事長）など関連他団体との連携を深めた。LED 応用研究会も 4 回開催し、12 月研究会では、名古屋大学赤﨑記念館の見学、講演会を開催し、活発な意見交換がなされた。2014 年 3 月に大阪商工会議所で開催した JPC 関西設立記念講演会では、90 名を超える参加者となり、JPC 関西設立が関係各方面に知らしめられた。

**2014 年度**

LED 研究会との合同開催を含め 5 回の定例フォーラムを開催した。産業用 LED 応用研究会 7 月研究会では、光電相互変換第 125 委員会との共催で名古屋にて開催、11 月研究会では、紫外線研究会設立記念特別セミナーとして開催、2 月研究会は天野浩先生のノーベル賞受賞記念講演会を兼ねて沖縄で開催した。沖縄の若い人たちに大きな夢を与え、地元ベンチャー企業の紹介など地域社会にも大いに貢献できた。
JPC 関西は 2014 年 4 月の設立以降、定例講演会を中心に活動し、特に植物工場の見学会を兼ねた講演会とノーベル賞受賞記念講演会は大盛況であった。
有機フォトニクス応用研究グループは、JPC 新春特別フォーラムで慶應義塾大学の小池康博教授による招待講演「フォトニクスポリマーの新展開」を実施した。

**2015 年度**

JPC フォーラム定例会を主体にしつつ（6 回開催）、産業用 LED 応用研究会、JPC 関西支部活動、紫外線セミナー、知財戦略特別講演会などを開催し、光技術、光ビジネスの普及･啓蒙活動を推進した。紫外線セミナーは 14 年 10 月に設立した紫外線研究会が主体となり企画した。
JPC 関西定例講演会は 3 回開催した。また、JPC 関西主催セミナー「光応用植物工場・バイオマス生産の基礎からビジネス展開へ」を 2 回開催した。
Photonics West 国際展示会（2016 年 2 月）の海外動向調査を実施し、報告会を開催した。

**2016 年度**

JPC フォーラム定例会は工学院大学合同開催を含め 5 回開催した。産業用 LED 応用研究会ではマイクロ LED ディスプレイや狭帯域赤色 LED 技術の注目の高さが顕著であった。戦略的な知財マネージメントの重要性を光産業界に訴求すべく、2016 年 8 月に専門部会委員長に藤野仁三氏（前東京理科大学教授）が就任し、「知財戦略専門部会」を発足させた。この機会にメールマガジン「JPC ニュース　知財・光総合」を 2016 年 12 月より毎月発行し、関連情報を発信した。
JPC 関西設立 3 年目の 2016 年度は、定例講演会に加えて新たに発足したアグリバイオフォトニクス産業化研究会（ABPI 研）の活動を積極的に推進し、特許を 1 件出願した。

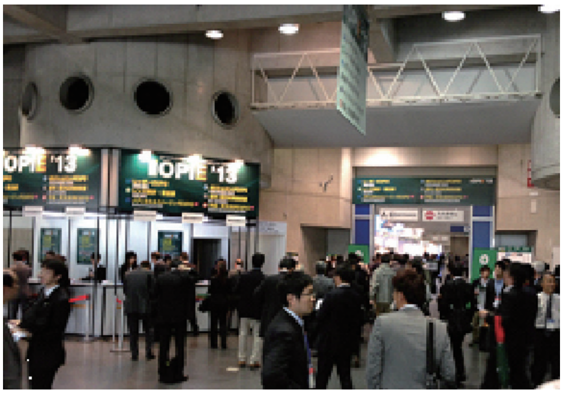
## ＜主な活動履歴（つづき）＞

**2017 年度**

JPC フォーラム定例会を主体にしつつ、アカデミック・パートナーシップ・ゼミナール（APS）として東京理科大学や工学院大学と合同の講演会など産学連携活動に注力した。
JPC 関西は、定例講演会に加えてアグリバイオフォトニクス産業化研究会（ABPI 研）の活動を推進し、成果を得た。近畿経済産業局からの委託事業である「平成 29 年度地域中核企業創出・支援事業」に参画し、ロボットフォトニクス事業の創出に取り組んだ。

**2018 年度**

JPC フォーラム定例会を主体にしつつ、先進フォトニクス技術研究会とともに東京工業大学や静岡大学と合同の講演会など産学連携活動に注力した。また可視光通信分科会と合同での可視光通信業界の動向を紹介した。2019 年 2 月初めにサンフランシスコで開催された SPIE-Photonics West 国際展示会でジャパンパビリオン出展社と現地情報交換会を開催した。




上記に掲げた活動のほか、JPC は毎年春にパシフィコ横浜で開催している光の技術展 OPIE で、「レンズ設計・製造展」「赤外・紫外応用技術展」「産業用カメラ＆アドバンスドイメージング EXPO」「宇宙・天文光学 EXPO」などを主催しています。

※より詳細な具体的活動履歴の詳細は下記を御覧ください。
https://j-photonics.org/reports/

＜我々のミッション・ビジョン・活動内容・役員・会員・定款＞
http://j-photonics.org

＜本協議会の所在地＞
〒162-0814　東京都新宿区新小川町 5-5　サンケンビル 1 階
電話：03-5228-3541　FAX：03-3269-2551

## JPC10 周年記念行事　協賛スポンサー企業一覧

株式会社アオサキマネジメント (AOSAKI management)

株式会社日本レーザー (JLC JAPAN LASER)

ISUZU GLASS

HAMAMATSU PHOTON IS OUR BUSINESS

株式会社オプトロニクス社 (OPTRONICS)

三菱電線工業株式会社

特許事務所グリーンワールド

10th anniversary